
Christmas Bell

玖龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Christmas Bell

【Nコード】

N7262Z

【作者名】

玖龍

【あらすじ】

聖なる日の街に舞い降りた2人の天使。

彼らの先には

(前書き)

200文字に収める予定が、500文字オーバーになりました。へ
へ

白雪が舞い散る街

恋人たちは忙しなく行き交う。

「美しい風景は、毎年見ても飽きませんね」

塀の上の少年は隣に立つ青年に笑いかける。が、青年の方は眉根を寄せていた。

「そうですねえ……ただ」

「ただ？」

「ほら、あそこを御覧なさい」

彼の指差す方向には この場には似つかわしくない程浮かない顔をした女性が。

「恩恵は与えられなかったのですか」

少年は心配そうな声音だったが、青年の方はなぜか微笑んでいた。

「彼女にも祝福を」

青年は真っ白な翼を広げ、彼女の元へと舞い降りると、

「メリークリスマス。汝に幸あれ」

そう言い残し、少年の元へと戻った。

「すみません……ちょっといいですか？」

困った様子の若い男性が彼女に声をかける。

「え、あ、はい」

「道に迷ったんですけど……案内していただけますか？」

「は、はい！」

頬を赤く染めて彼女は、男性と話を始める

見たこともな

いような可愛らしい笑みを浮かべて。

その様子を見て、少年と青年は顔を見合わせ、にっこりと笑う。

「それでは……祝福の鐘を」

街にコーン、と澄んだ音が響く。

その音に人々は立ち止まる。

「ハッピークリスマス。みなさんにも祝福を」

少年はそう言い残すと、その白い翼でどこかへと飛び去った。

(後書き)

Happy Christmas!

皆さんの元に祝福が授けられますように!

……その前に私に文才の祝福をくれ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7262z/>

Christmas Bell

2011年12月24日12時51分発行